

放射線治療の準備と流れ

放射線科へ紹介

まず、放射線治療医による診察を受けます
検査結果や体の状態などを考慮ながら、治療方針
が決められます。



治療計画

CTで治療を行う部位の画像を撮影します。
吸引バッグやシェルと呼ばれる固定具を作成して、照射部位が
動かないような工夫をします。



頭や首の固定具（シェル）



腹部や骨盤部の固定具（吸引バッグ）

毎日の治療

書かれている印に合わせて毎回同じ部位に照射します。



終了後の
経過観察

治療が終わった後も、治療の効果や副作用などを調べる
ために医師の診察を受け、必要に応じて検査を行います。

IGRT（画像誘導放射線治療）

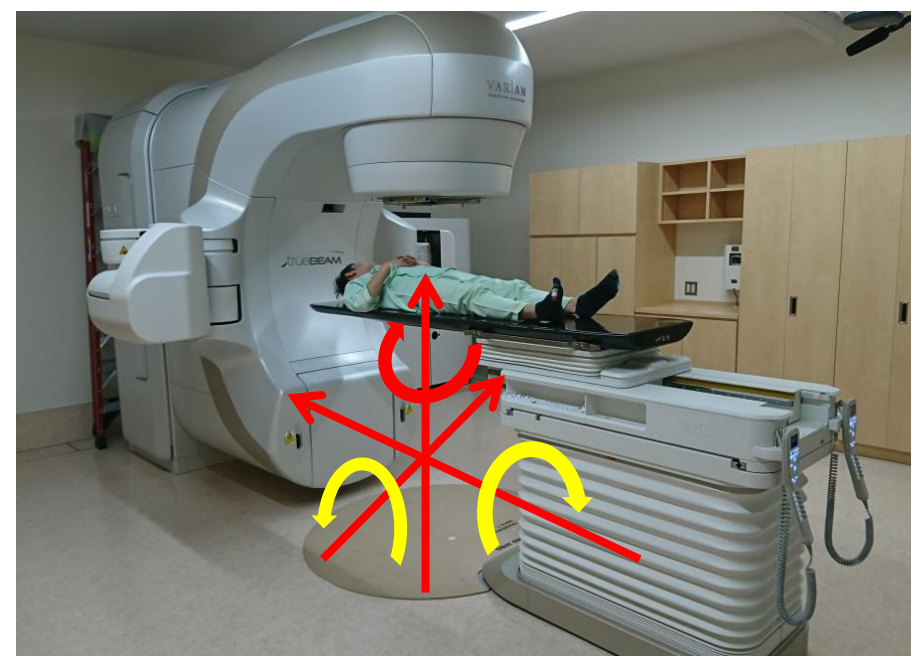
IGRTとは、放射線治療時に画像撮影をし、腫瘍の位置誤差を補正しながら正確に
放射線治療を行う技術のことです。

搭載された撮影装置でレントゲンまたはCTを撮影し、画像を見ながら腫瘍の位置
照合することができます。

位置照合は寝台を6軸方向から補正することで、正確に照合することが可能です。



治療計画用CTと治療時に撮影したCTの比較



6軸での補正が可能

放射線治療は、放射線治療医、診療放射線技師、看護師など多くのスタッフが協力し、
患者一人一人に合わせた治療を行っております。